施工をされる方へ

タキロン 雨水貯留ﾀﾝｸ 雨音くんミニ80ﾘｯﾄﾙ

― 施工説明書 ―

○雨水貯留タンク『雨音くんミニ』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
○この施工説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上で施工ください。
○ここに示した注意事項は、商品の性能・機能及び強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
　施工にあたっては必ずお守りください。
○別途取扱説明書が付属されておりますので必ずお施主様へお渡しください。

○梱包内容確認

・開梱時に種類と数量を確認してください。
・商品に破損や異常がないか確認してください。
・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には購入された販売店様又は
　タキロン㈱までご連絡ください。（連絡先は取扱説明書のP4をご参照ください。）

名 称	略 図	数 量	名 称	略 図	数 量
タンク本体		1個	キャップ		2個
			キャップ（ホース接続用）		1個
集水継手		1個	水 栓（蛇口）		1個
ホースバンド		2個	シールテープ（水栓用）		1個
ホース（70cm）		1本	取扱説明書 施工説明書		各1部

○施工時に必要な工具及び部材をタンクの取付け前に準備ください。

		工 具	個 数	用 途
工具	1.	油性マジック	1本	たてどい切断時のマーキング
	2.	粘着ﾃｰﾌﾟ	1本	たてどい切断時の目安
	3.	1m程度の真直ぐな棒または角材	1本	たてどい切断基準線の確認
	4.	ものさし	1本	たてどい切断位置の寸法測定
	5.	カッターナイフ	1本	たてどい切断後の端面処理
	6.	手袋（軍手）	1組	作業時の保護具
	7.	ノコギリ(金切もしくはプラスチック用)	1本	たてどい切断用
部材	8.	コンクリートブロック	4個	タンクの架台

施工の前に確認ください

・施工可能なたてどい　　単位：mm

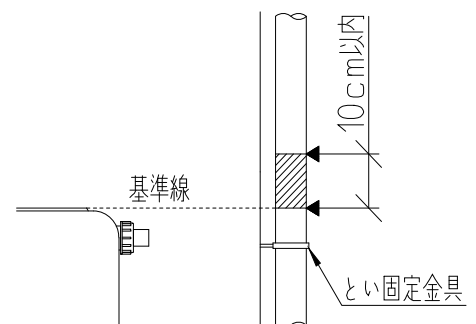
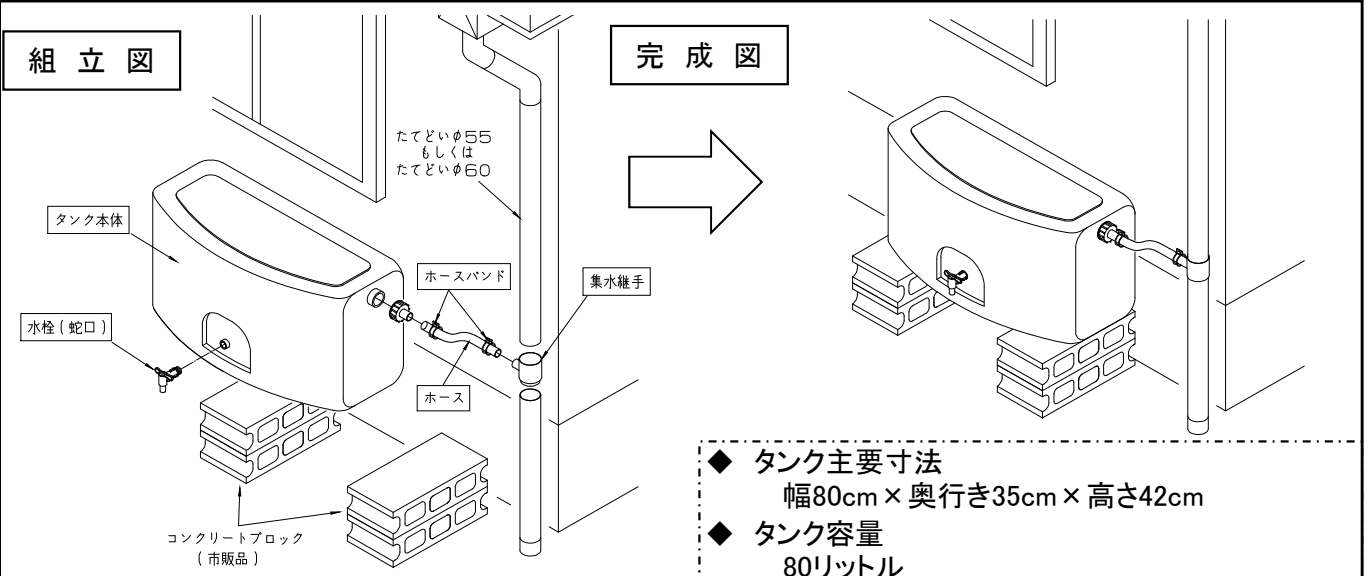
	メーカー名	呼称	断面形状	備考
丸たてどい	各社共通	ｻｲｽﾞ55		糸を一周巻いてその長さが約173mmであればｻｲｽﾞ55です。
		ｻｲｽﾞ60		糸を一周巻いてその長さが約190mmであればｻｲｽﾞ60です。

下図の角たてどいに接続する場合は、別売の角たてどい変換ゴムソケットが必要です。

	メーカー名	呼称	断面形状
角たてどい	タキロン㈱ takiron	U60	U60 T30
		T30	
	積水化学工業㈱ SEKISUI	Y60	Y60 MY60
		MY60	
	松下電工㈱ National	PC30	PC30 S30
		S30	
	電気化学工業㈱（東洋化学㈱）	K−35	K−35 F−35
		F−35	
	三菱樹脂㈱	V・60	V・60

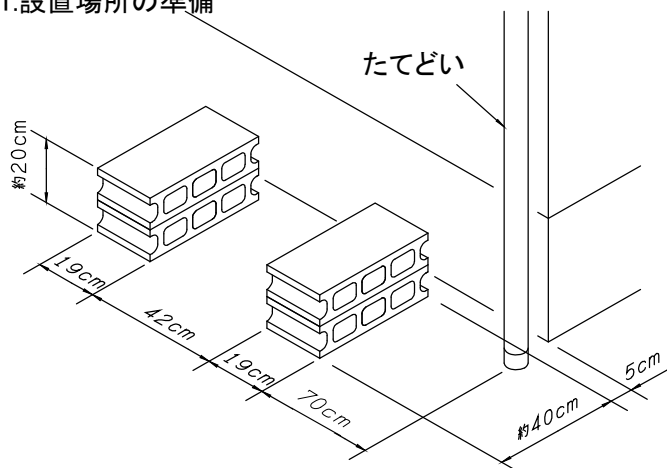
施工について

重要ポイント!!

ゴムソケット使用時は、たてどいの切断位置は、施工手順2の重要ポイントに記載されている基準線から10cm以内で8cmのたてどいを切断してください。

《注意1》上記以外の角たてどいに取り付ける場合は、集水継手を取り付ける部分を丸たてどい60に変更してください。丸たてどいに変更する部材が各メーカーで用意されています。
必ず角たてどいと同じメーカーの商品を使用してください。
必要数量　・丸たてどい60　50cm、・丸たてどいに変更する部材　2個

◆ タンク主要寸法
幅80cm×奥行き35cm×高さ42cm

◆ タンク容量
80リットル

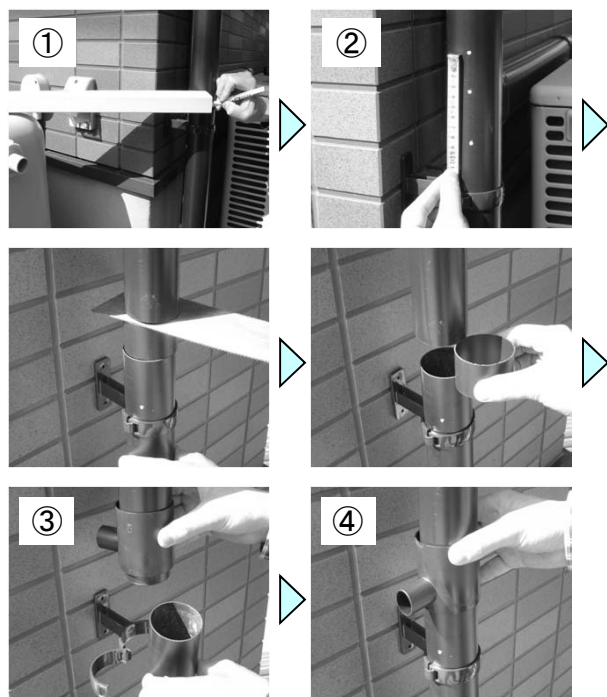
施工手順

1.設置場所の準備

たてどいを基準にタンク設置場所を決定し、市販のブロックを横置きにして水平になるように設置します。（たてどいからタンクまでの距離は70cm以内とします。）

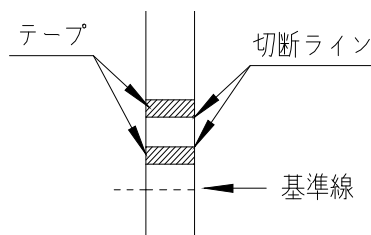
⚠ コンクリートブロックは必ず横置きで設置してください。

⚠ 設置場所が土の場合は、コンクリートブロックが水平になるように、土をふみ固めてください。

⚠ タンクが満水状態になると背面（建物側）に膨らみますので、ブロックは建物から5cm程度離して設置してください。

2.集水継手の取り付け

①タンクをブロックに設置し、上面に当て木などを載せ、たてどいに基準線を記入します。

②基準線から<u>**上側10cm以内**</u>で、切断長さが<u>**約3.5cm**</u>になるよう印をつけノコギリで切り落とします。

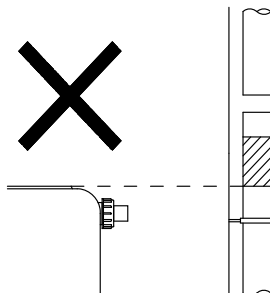
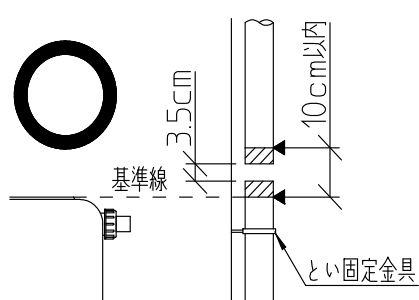
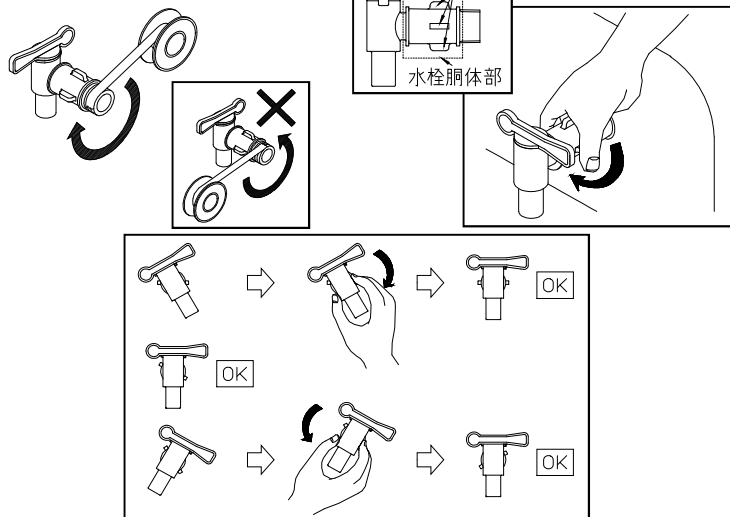
・印を付けた部分にﾃｰﾌﾟを一周貼ると、 目安になり切断作業が行い易くなります。

③切断位置の下側にあるとい固定金具を外し、たてどいをずらして集水継手を挿入します。

④たてどいおよび固定金具を戻し、集水継手をさげることで取り付けが完了です。

注意

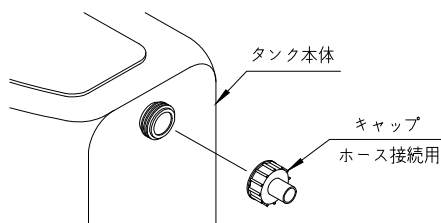
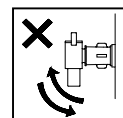
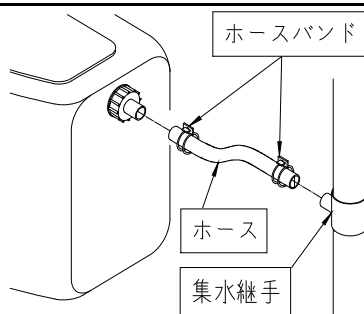
集水継手とたてどいは接着しないでください。メンテナンスができなくなります。
また、テープなどで集水継手とたてどいの隙間をふさがないでください。集水継手にゴミなどが詰まった際に、たてどいの水位が上昇して、水圧によりタンクが変形、破損する恐れがあります。

重要ポイント!!

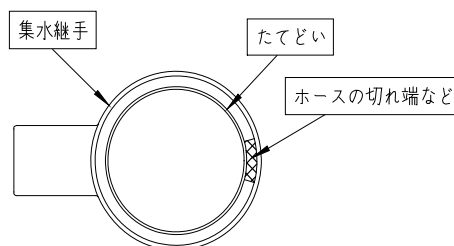
集水継手を所定の位置より高く設置してもタンクへ導く水の量は同じです。必ず基準線から10cm以内に取り付けてください。タンクが変形し破損する恐れがあります。

3.部品の組み立て

①水栓（蛇口）のねじ部に付属のシールテープを、時計回りに最低3重になるように巻き付け、水栓胴体部の突起を手でつかんで、タンク本体にねじ込んで取り付けます。

⚠ 工具を使って水栓を締め付けないでください。破損いたします。

取り付けた状態で吐水口が下を向いていない場合は、手で吐水口を下に向け、水栓取付け完了です。

⚠ 水栓に無理な力を加えないでください。破損いたします。

②たてどいと接続する側にホース接続用キャップを取り付けます。

③ホースにホースバンドを通してからタンク本体および集水継手に接続し、バンドで固定します。

⚠ タンクの設置位置がたてどいから近い場合、ホースをそのまま接続するとたるみができ、雨水が流れにくくなります。ホースをカッターナイフなどを使ってたるまない長さで切断し、接続 してください。なお、切断の際カッター類の取扱いには十分注意願います。

⚠ たてどいのサイズによっては、集水継手が傾くことがあります。そのときは、上流側のたてどいと集水継手の間に、ホースの切れ端などを詰めることにより傾きが抑えられます。

⚠注意

2011年3月改訂版

■ 施工上の注意

- タンクの持ち運び時、たてどいの切断作業時は必ず手袋（軍手）を着用してください。
- タンクは重量物(約5kg)です。無理のない姿勢で運搬ならびに作業を行ってください。
- 商品に油や洗剤、シンナー等の有機溶剤をこぼした場合、完全にふきとってください。
- 指定の部品以外は使用しないでください。
- 施工後、ガタつきがないか、キャップなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。
- 取扱説明書に基づき、商品の使い方や保守・点検方法及びメンテナンス方法を必ずお施主様へ説明してください。
- 改造などは絶対にしないでください。
- 縦方向（上下）にタンクを連結しないでください。水圧により、下段のタンクが破損する恐れがあります。

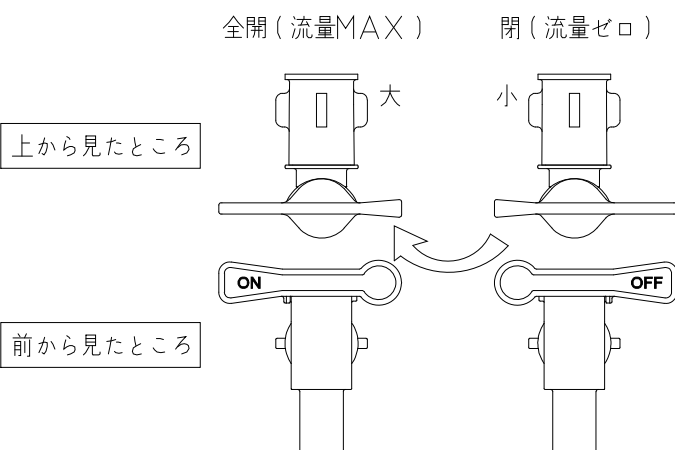
お施主様用

タキロン 雨水貯留タンク

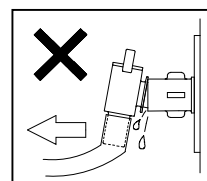
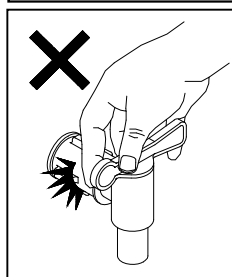
雨音くんミニ 80L

取扱説明書

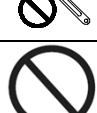
○タキロン 雨水貯留タンク『雨音くんミニ』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
○この取扱説明書をよくお読みになり、内容をよくご理解された上でご使用ください。
○この取扱説明書はいつでもお読みいただけるよう大切に保管して下さい。

水栓（蛇口）の使用方法について

ポイント：
正面から見て、「ON」の文字が見えるときが全開です。
閉めるときは、「OFF」の文字が見えることを確認してください。

注意：
ハンドルは、180度しか回転しません。

注意！！
水栓のハンドル開閉時には、ハンドルと水栓胴体部の間に指、爪などを挟み込まれないよう、十分注意してください。

注意！！
水栓にホースを取り付けて使用しないでください。
ホースをひっぱった時に、水栓のかん合部が外れて水浸しになる恐れがあります。

タキロン株式会社

安全上のご注意

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害が想定される内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。　　❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

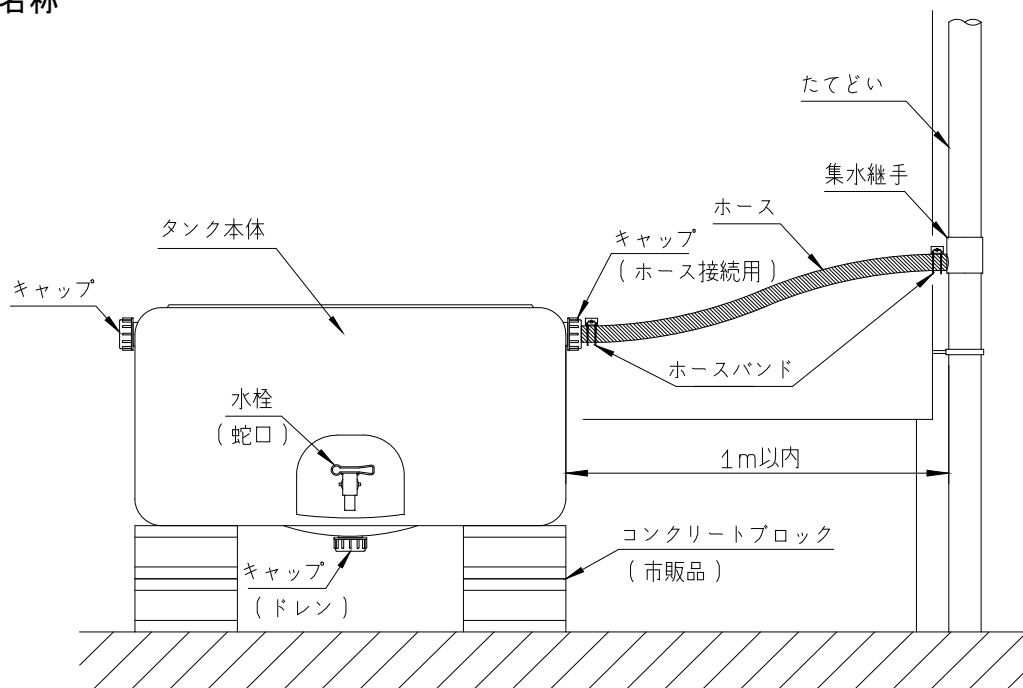
1．使用上の注意

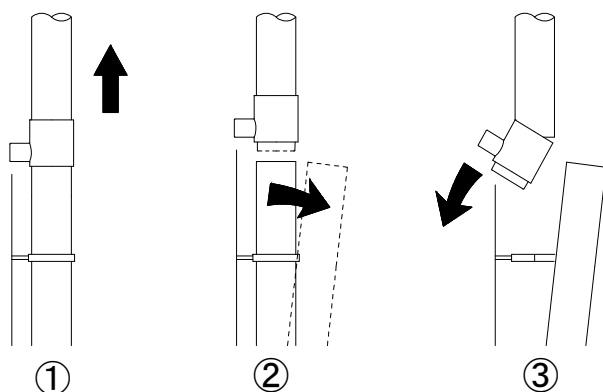
⚠警告

	●雨水タンクの水は飲めません。絶対に飲まないでください。 ・誤って飲んだ場合、健康を害する危険性があります。 ・万一誤って飲んでしまった場合は、すぐに医師にご相談ください。
	●本製品は雨水専用です。絶対に雨水以外の薬品等を貯留したり、混ぜたりしないでください。 ・薬品等が混入したタンク内の水を誤って飲んだ場合、人体に重大な危害を及ぼす危険性があります。 ・著しい強度低下につながる危険性があり、製品の破損の原因となります。
	●タンクが満水になると重量が約100kgになります。地面の沈下等の恐れがある場合は、必ずコンクリート等の基礎を施してください。 ・転倒事故の原因となりますので、タンクの安定が悪いと感じた場合は、直ちに水を抜き、使用を中止してください。
	●絶対に雨水タンクや蛇口の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。 ・転倒または破損により、重大事故につながる危険性があります。
	●タンク周辺で火気を使用しないでください。 火災及び変形の原因となります。

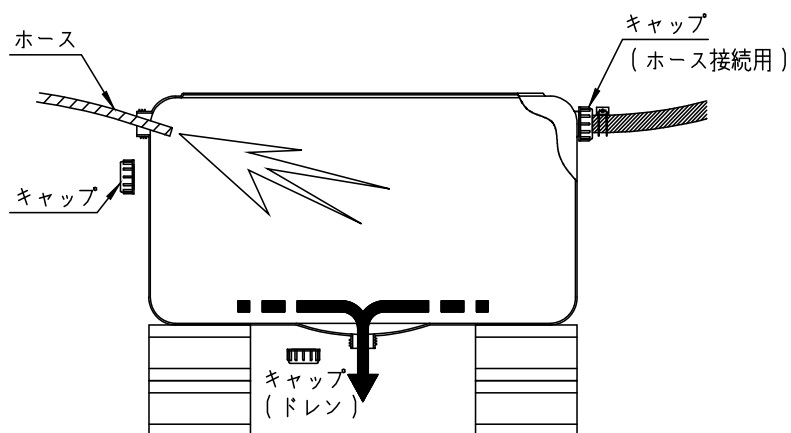
⚠注意

	●雨水タンクの上に重量物や不安定なものを置かないでください。 ・落下して重大事故につながる危険性があります。なお、タンク上部にプランターなどを載せる場合、総重量5kgまでとしてください。
	●台風等の強風発生の恐れがある時は、転倒防止策として雨水タンクの中に半分以上の水を入れておいてください。
	●改造などは絶対しないでください。 ・改造やペイントは著しい強度低下につながる危険性があり、製品破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。
	●水栓やキャップを取付けるときに工具は使用しないでください。 ・製品破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。
	●界面活性剤の含まれている洗剤や保護つや出し剤などは使用しないでください。 ・　製品破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
	●凍結の恐れがある時は、タンクの水栓（蛇口）から水を抜き、集水継手とホースを取り外してください。
	●タンク内に雨水が溜まっていくと、多少ふくらみますが問題はありません。
	●溜まった雨水を、車やバイク等の洗車には使用しないでください。 ・雨水に含まれる砂や埃などで車体を傷つける恐れがあります。
	●縦方向（上下）にタンクを連結しないでください。 ・水圧により、下段のタンクが破損する恐れがあります。

1.各部の名称

≪　タンクのメンテナンスについて　≫

●　集水継手に落ち葉などが堆積すると、タンク内に雨水が溜まり難くなりますので、定期的に（6ヶ月に1回を目安として）清掃してください。

①ホースを取り外し、集水継手を上にずらします。

②下側にあるとい固定金具を外し、たてどいをずらします。

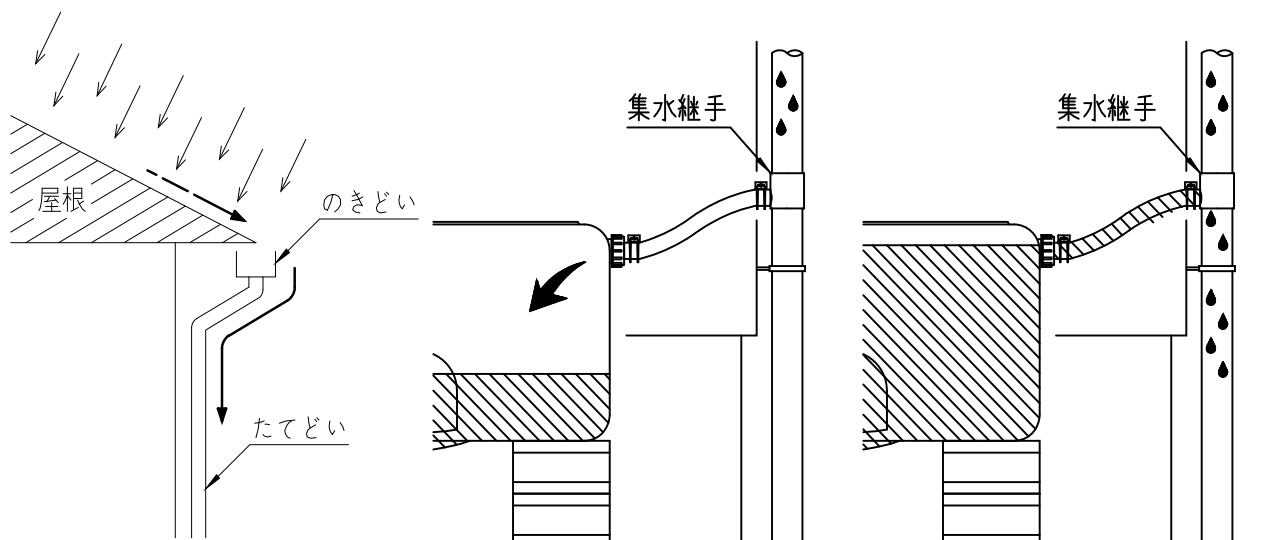
●　長期間使用していると、タンク内に砂やゴミ等が溜まり、水栓（蛇口）から水がでにくくなる恐れがありますので、次の要領に従って清掃してください。

①水栓（蛇口）を開けて貯留水をだします。

②次にタンク底面のドレンキャップを外し、完全に水を抜きます。

③ホースを接続していないタンク上部のキャップを外し、水道ホースなどの水流でタンク内面のゴミを洗い流します。

●　タンク表面の清掃については水洗いを行ってください。

●キャップは、工具を使用して締め付けないでください。破損の原因になります。

≪　タンクの集水構造について　≫

屋根に降った雨水は、のきどいを通じてたてどいから流れ落ちます。

流れ落ちてきた雨水は、たてどいの途中に取り付けた集水継手で効率よく集められ、ホースを通して貯留タ

貯留タンク内が満水状態になると、ホース内にも水が溜まり、集水継手からオーバーフローしますので、専用配管などの必要はありません。

注意：

集水継手を所定の位置より高く設置してもタンクへ導く水の量は同じです。必ず基準線から10cm以内に取り付けてください。タンクが変形し破損する恐れがあります。

部品明細

	材質	規格
タンク本体	ポリエチレン	
水栓（蛇口）	ポリエチレン	呼び径20mm
キャップ	ポリエチレン	内径50mm
キャップ用パッキン	NBR	
ホース	塩ビ	耐圧ホース内径25mm
ホースバンド	鉄	
集水継手	塩ビ	

タキロン株式会社

■製品に関するお問合せ・ご相談は

お客様相談センター

0120-877-115（受付時間 平日 9:00～17:00）

※土・日・祝日・年末年始・お盆は休みをいただいております。

2011年3月改訂版